

資料集

コロナ流行下で
起きていたこと、起きていること
(2023年1月13日まとめ)

メンタルケア協議会
羽藤 邦利

(資料の項目)

■人口動態統計（速報）より

出生数が急減し、死亡数が増加。少子高齢化が急加速

■人口動態統計（概数）より

老衰、循環器、腎泌尿器生殖器、消化器、精神及び行動の障害、神経の障害、悪性新生物(主要)による死亡増加

■超過死亡数とコロナ死亡数

■コロナ流行下、子どもが重大な影響を被っていた

■家庭で起きていたこと

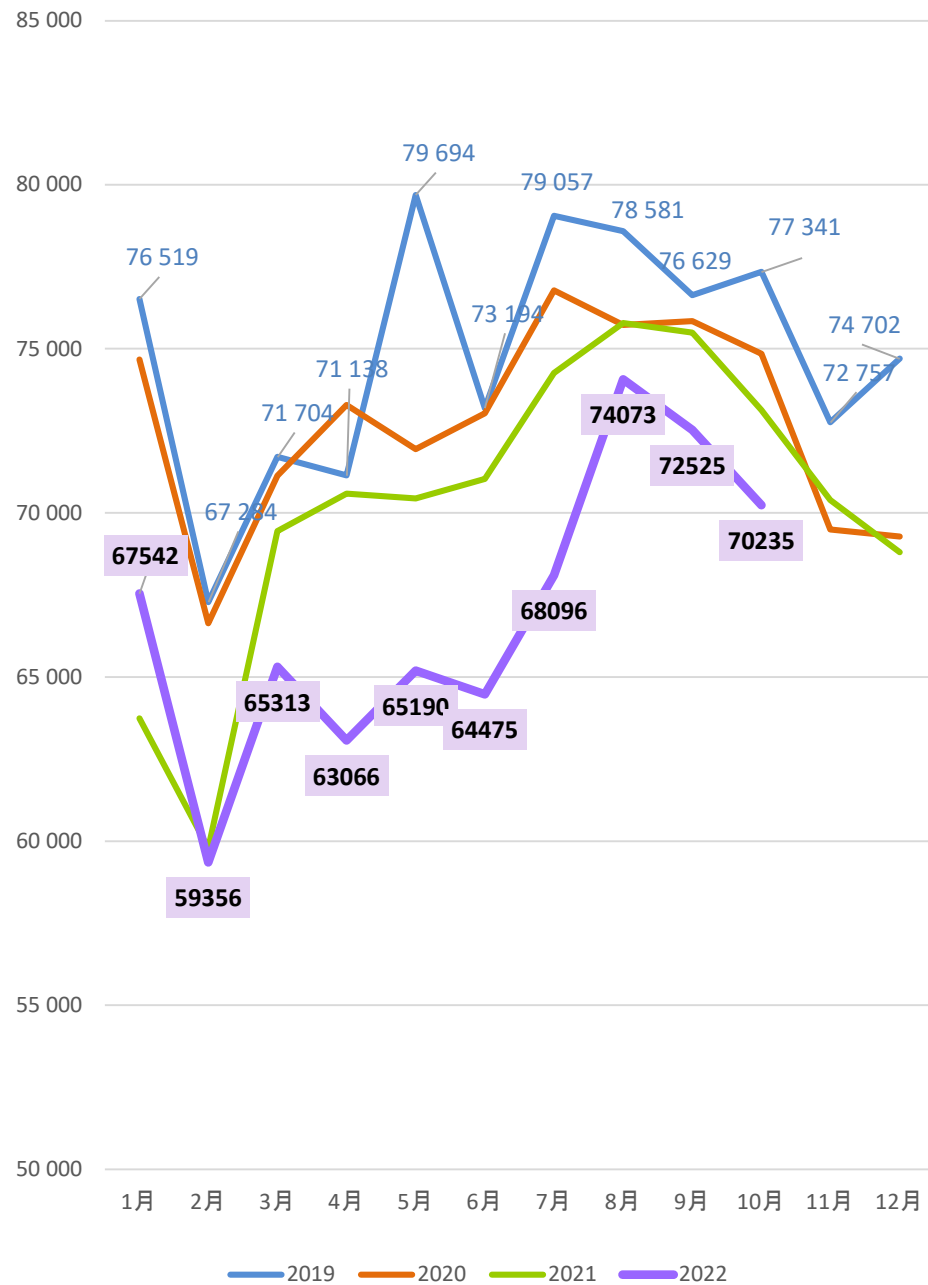
■精神科医療で起きていたこと

人口動態統計（速報）より

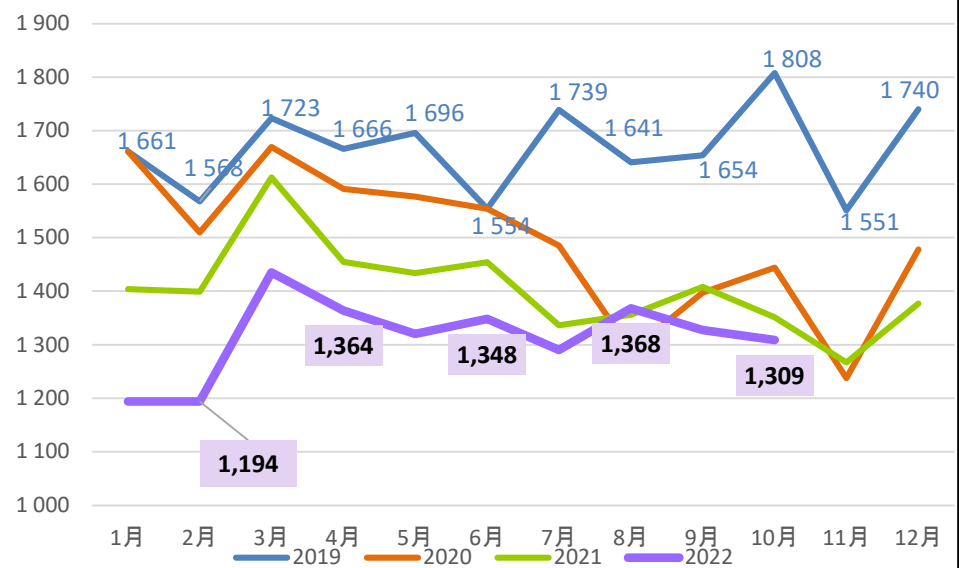
（2019年 2020年 2021年 2022年9月）

出生数、死亡数、婚姻数、離婚数の動向

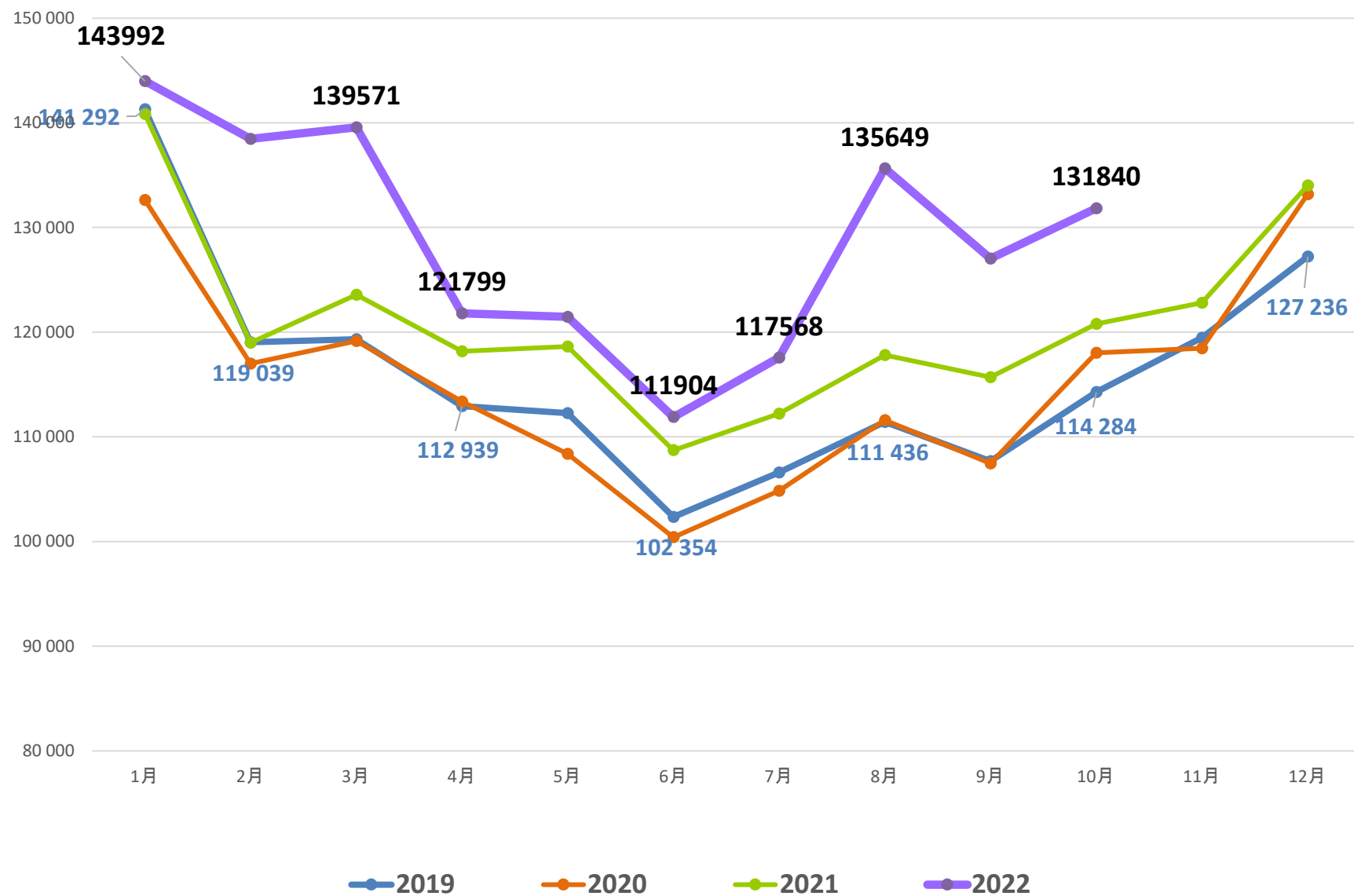
出生数



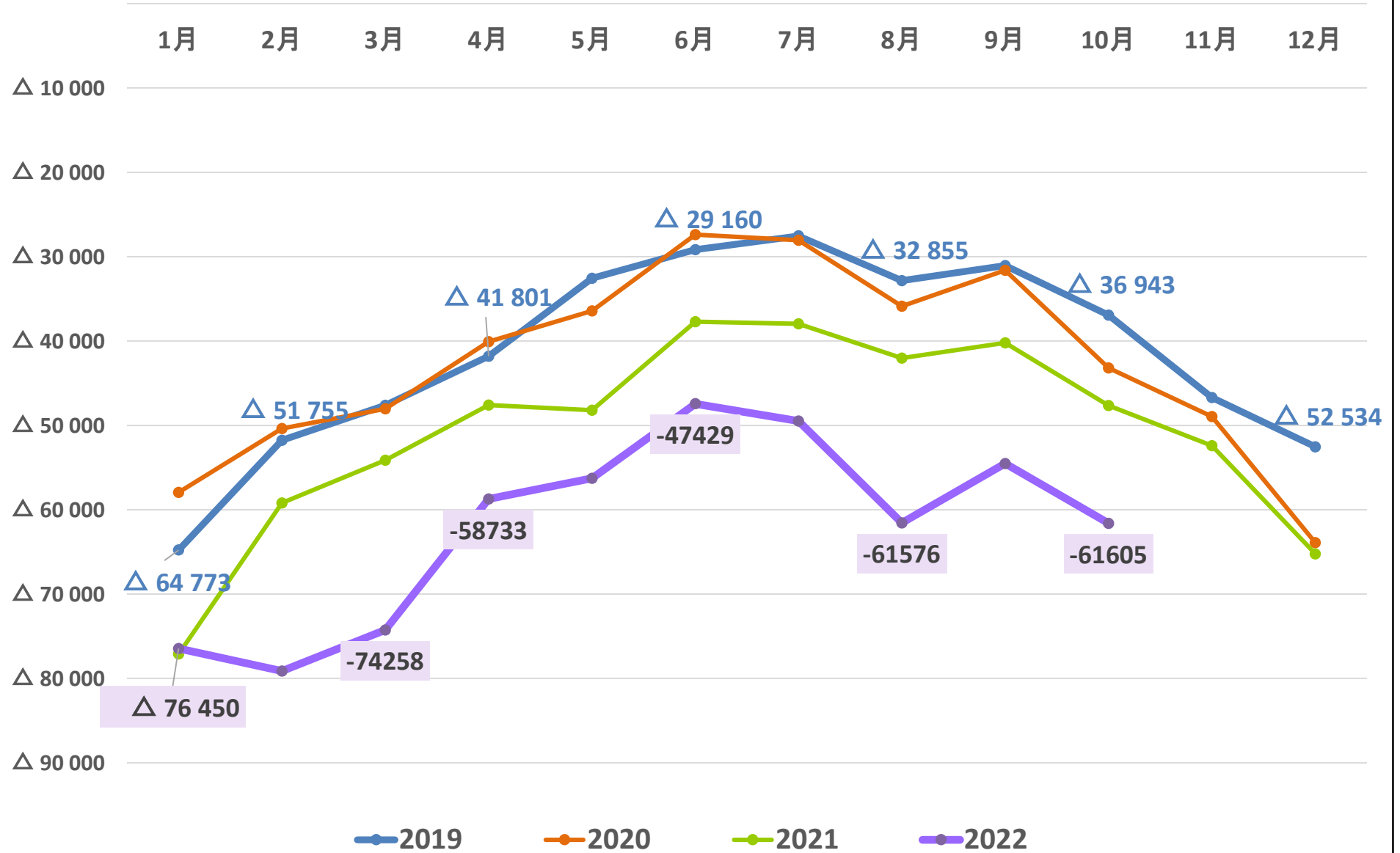
死産



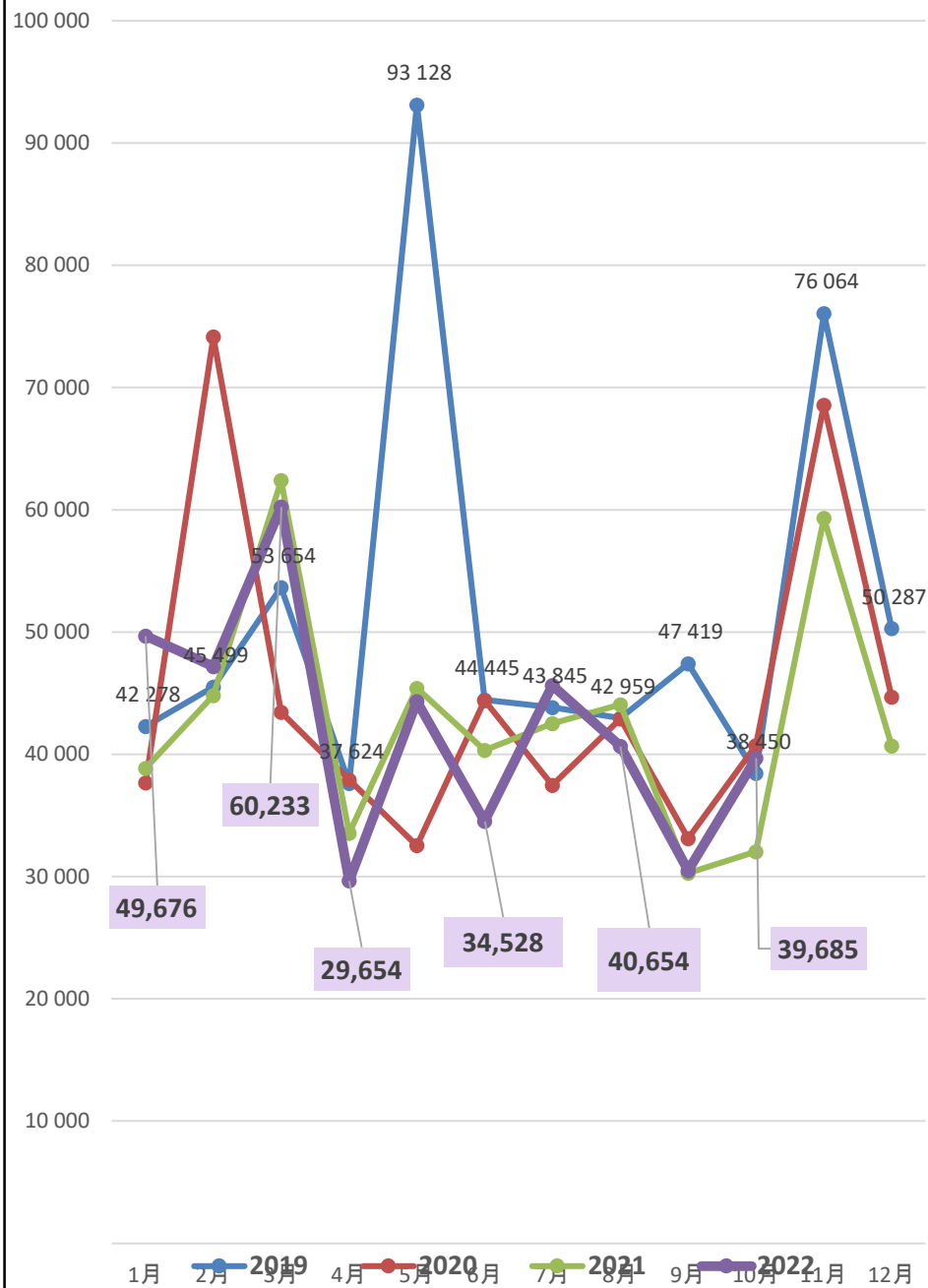
死亡



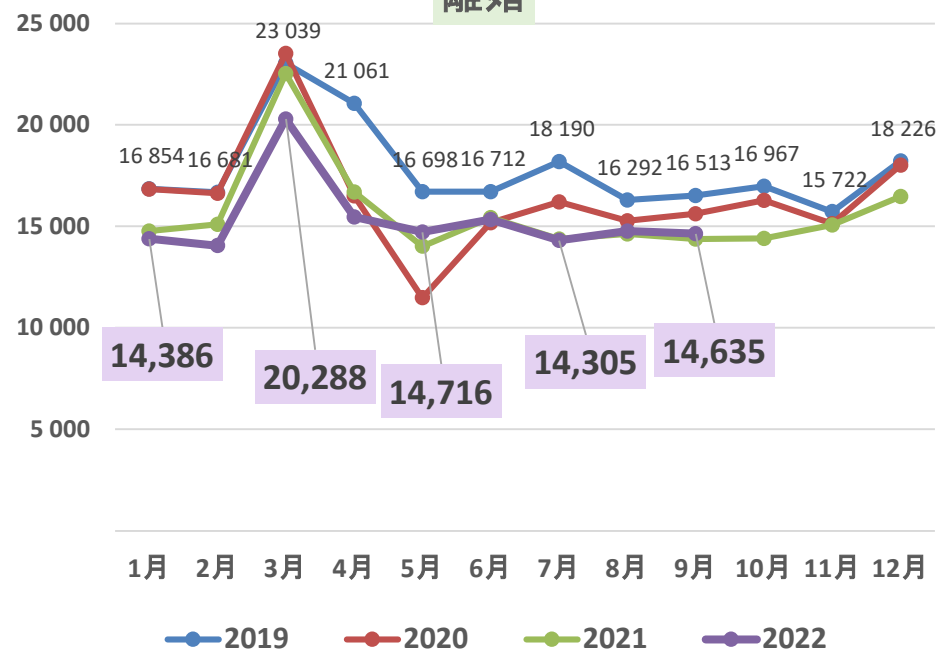
自然増減



婚姻

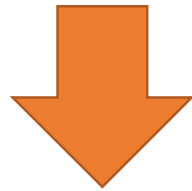


離婚



人口動態統計月報（速報）が示唆すること

- 出生数の著しい減少
- 死亡数の著しい増加（超過死亡数が多い）
- 人口の著しい減少



影響は計り知れない
日本はこれから様変わりする

人口動態統計（概数）より

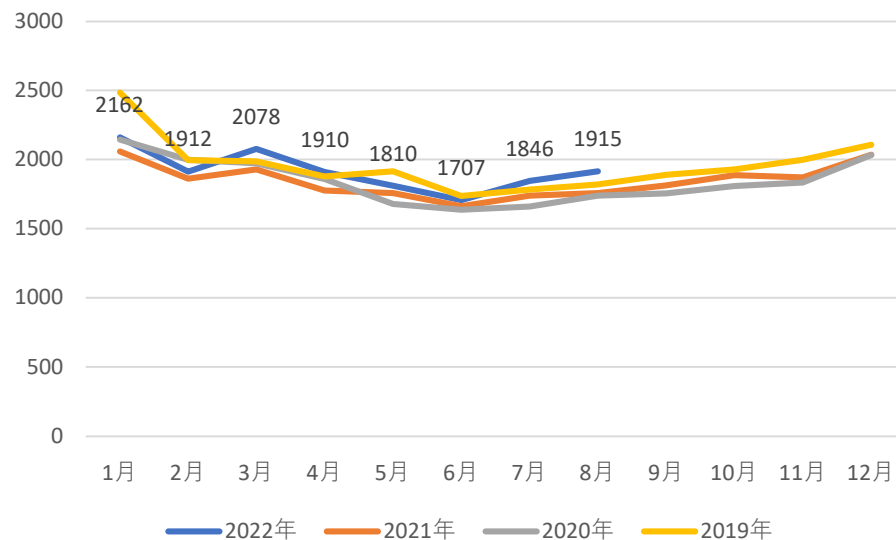
（2019年 2020年 2021年 2022年8月まで）

- 死因別死亡数
- 超過死亡数とコロナ死亡数

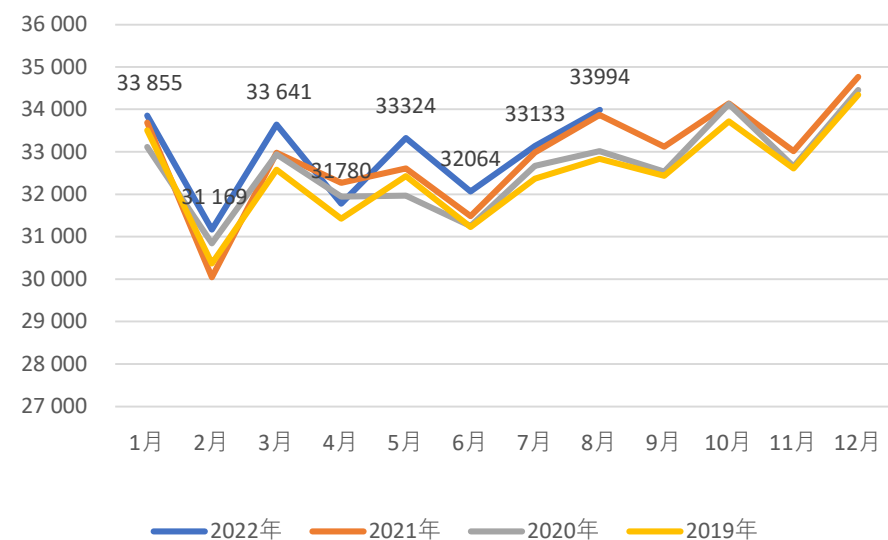
(死因別の月別死亡数の推移)

2019年 2020年 2021年 2022年8月まで

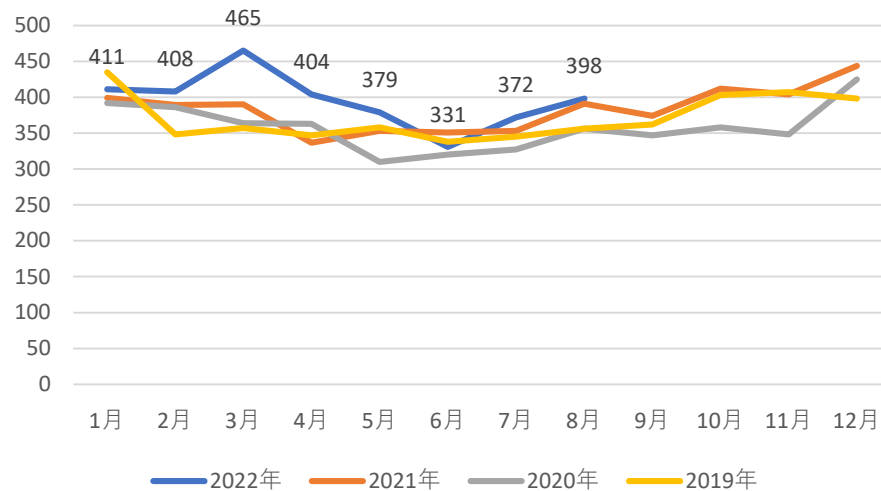
感染症及び寄生虫症



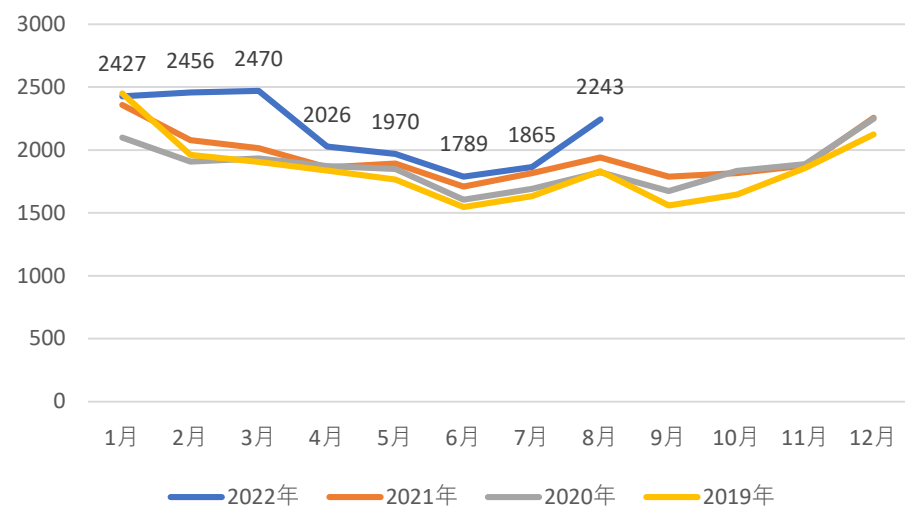
新生物＜腫瘍＞



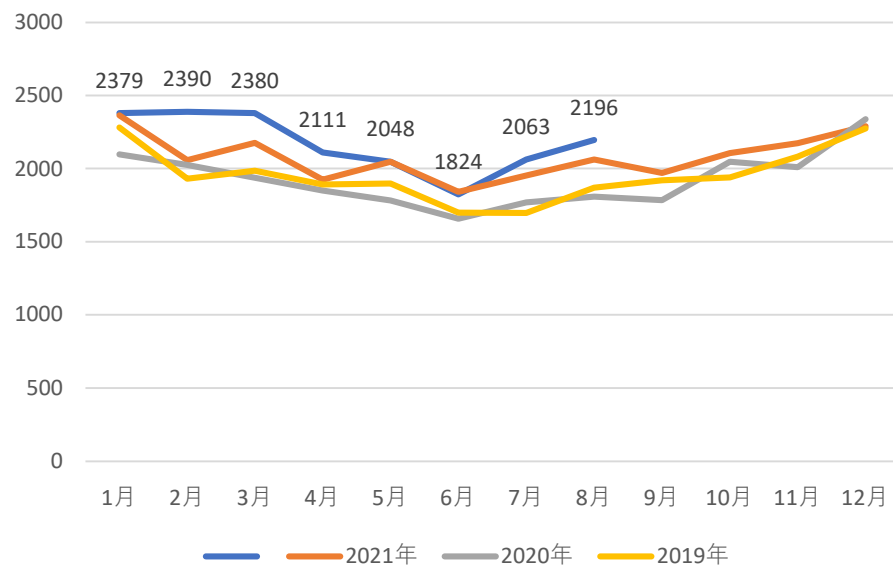
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害



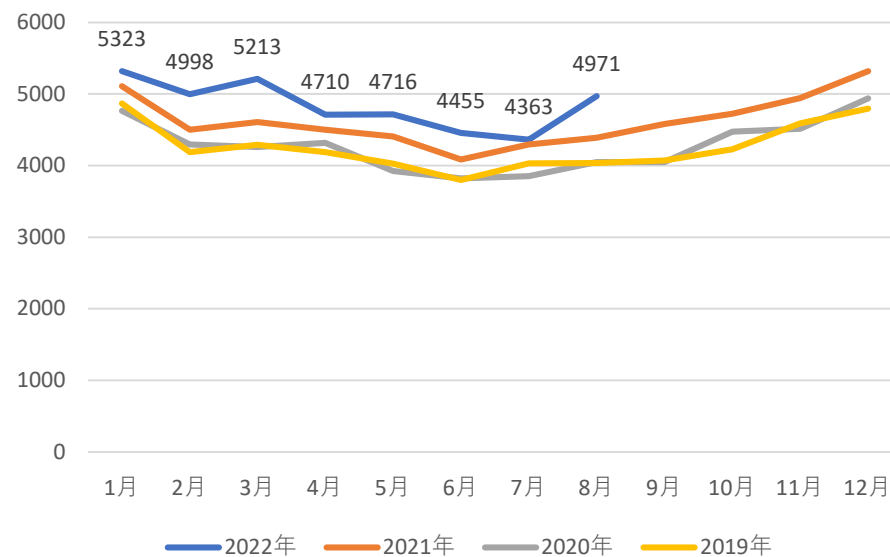
内分泌, 栄養及び代謝疾患



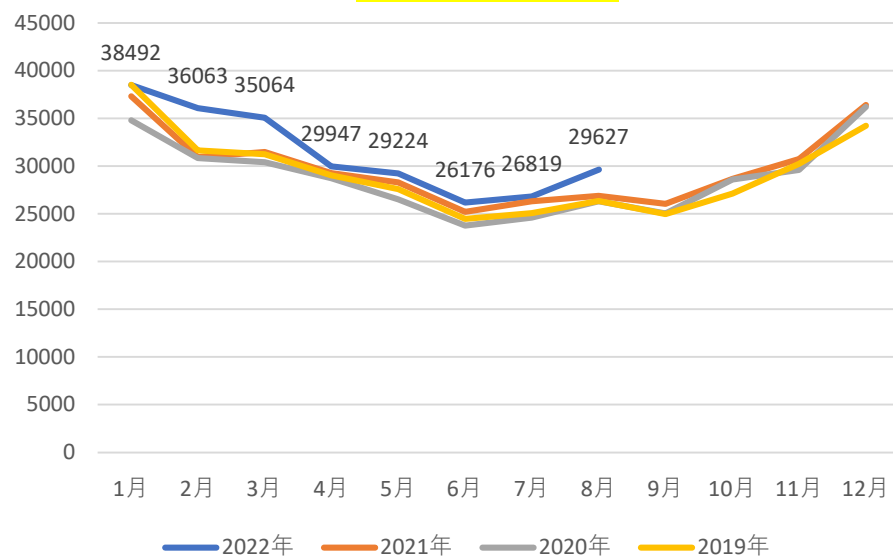
精神および行動の障害



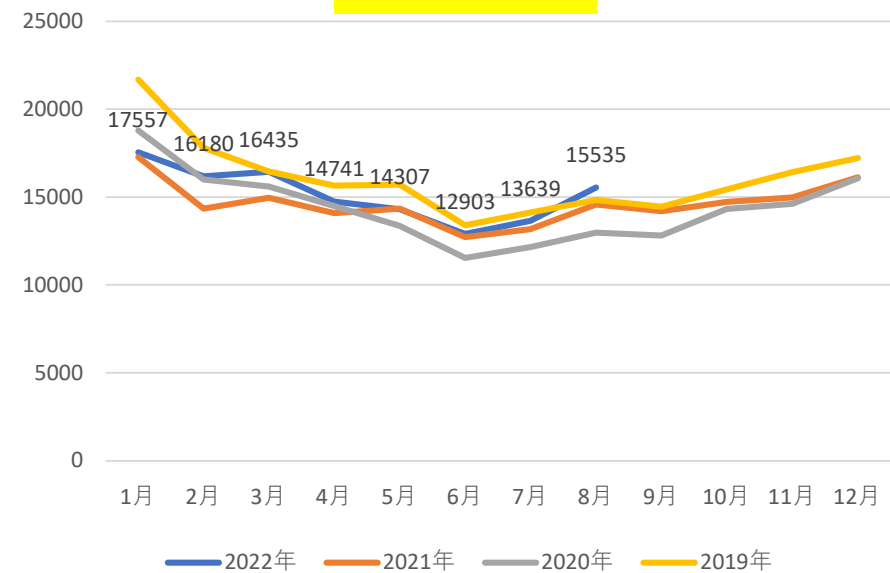
神経系の疾患



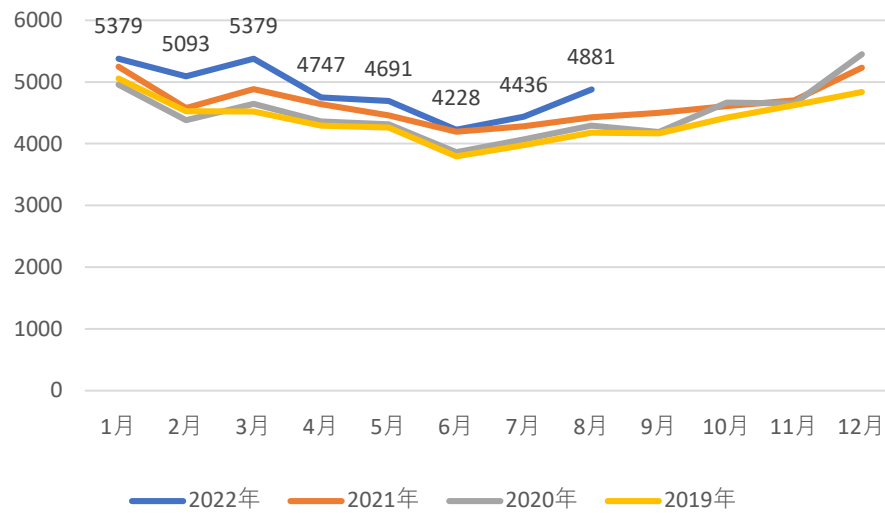
循環器系の疾患



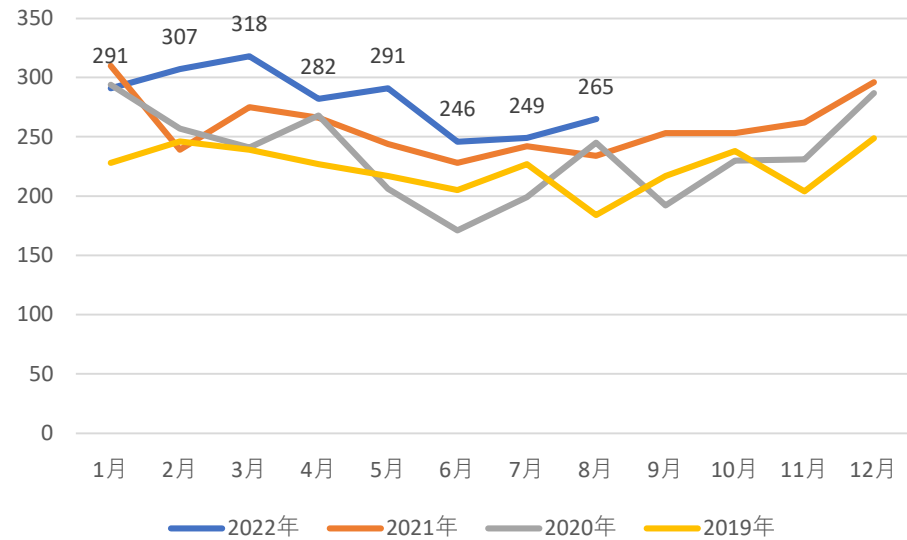
呼吸器系の疾患



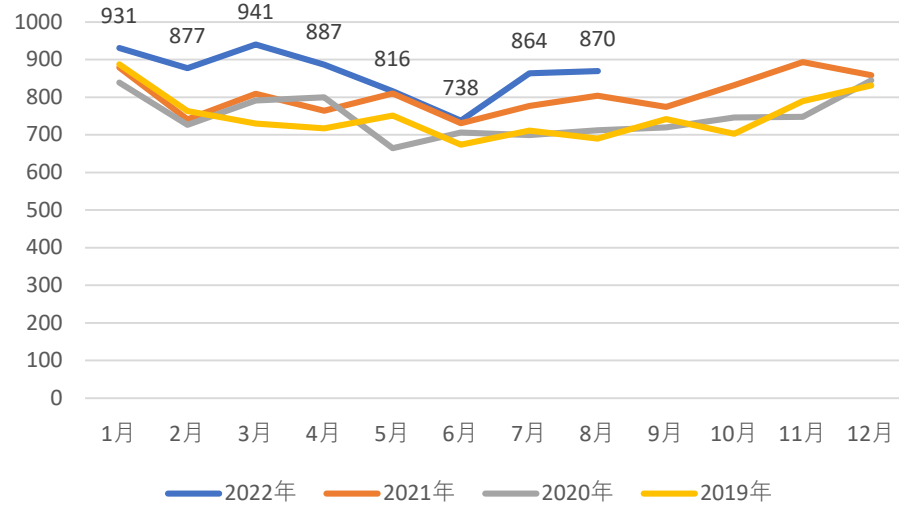
消化器系の疾患



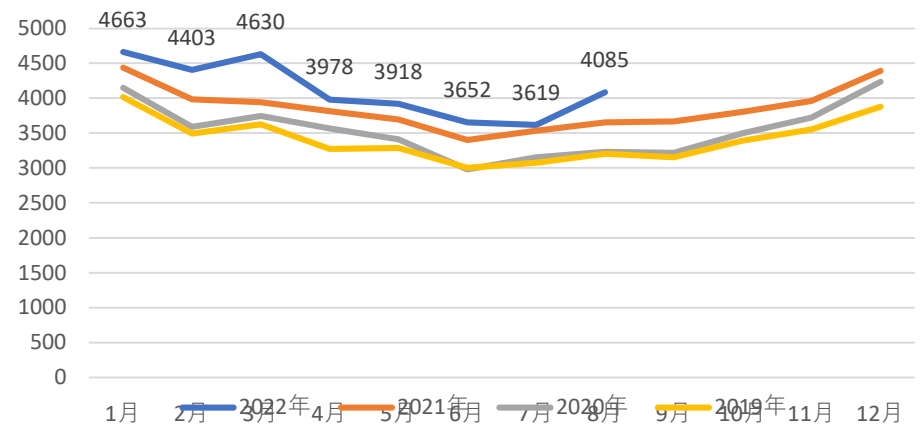
皮膚及び皮下組織の疾患



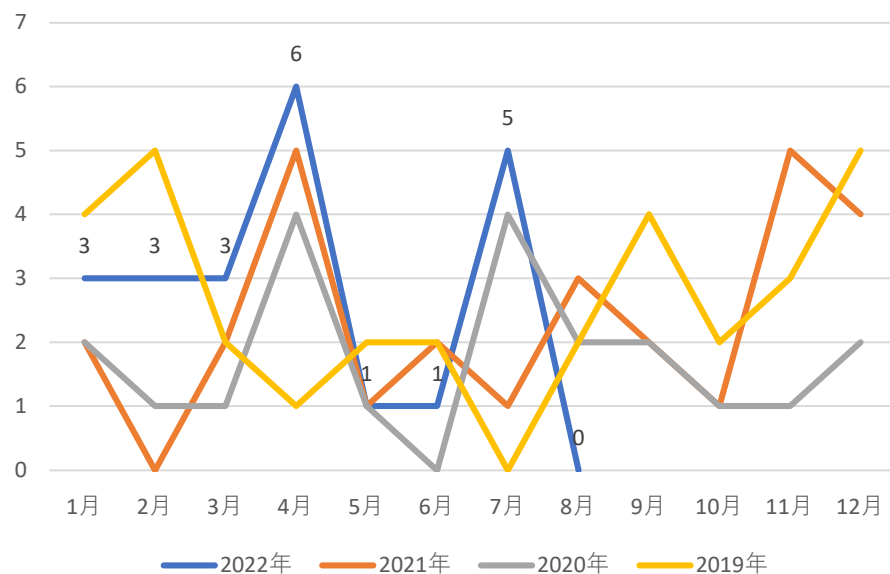
筋骨格系及び結合組織の疾患



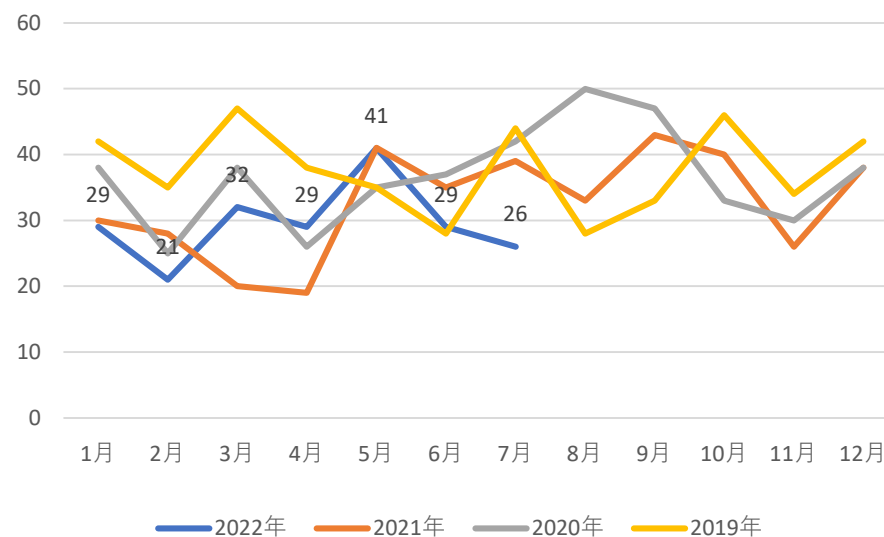
腎尿路生殖器の疾患



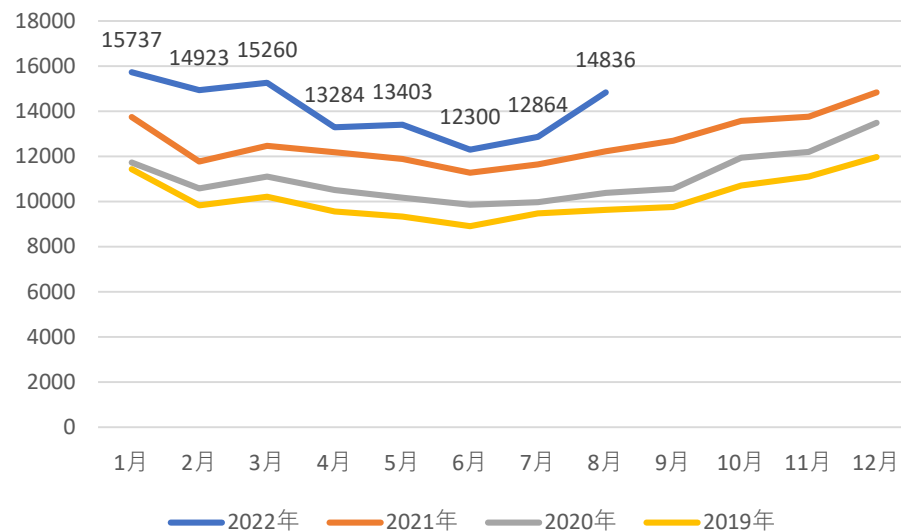
妊娠、分娩及び産じょく



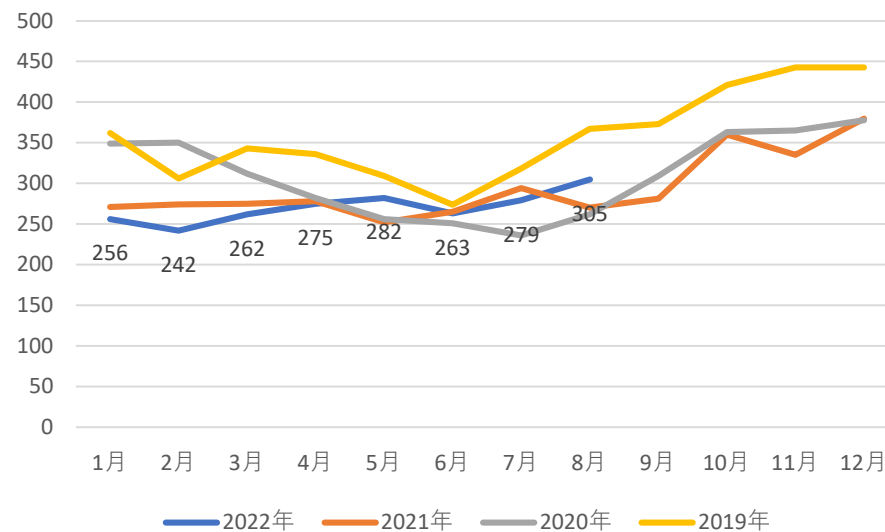
周産期に発生した病態



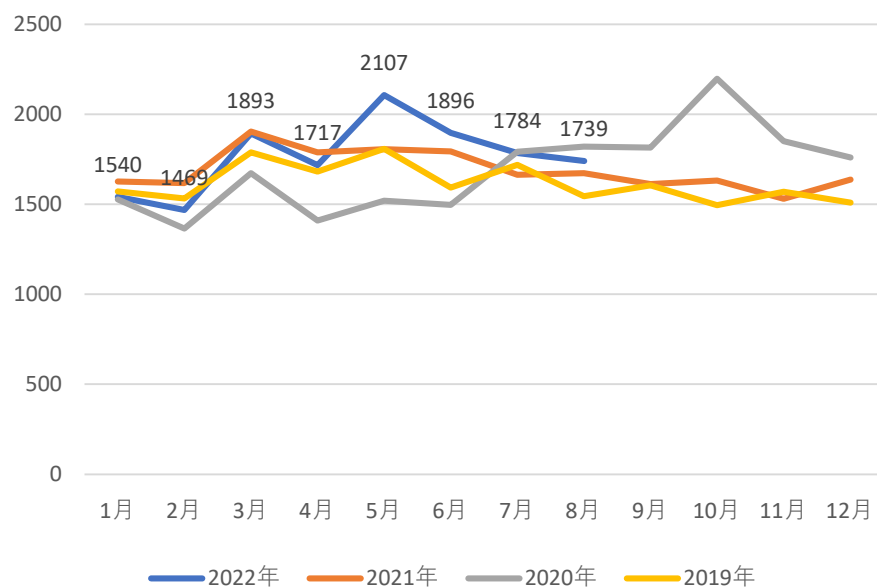
老衰



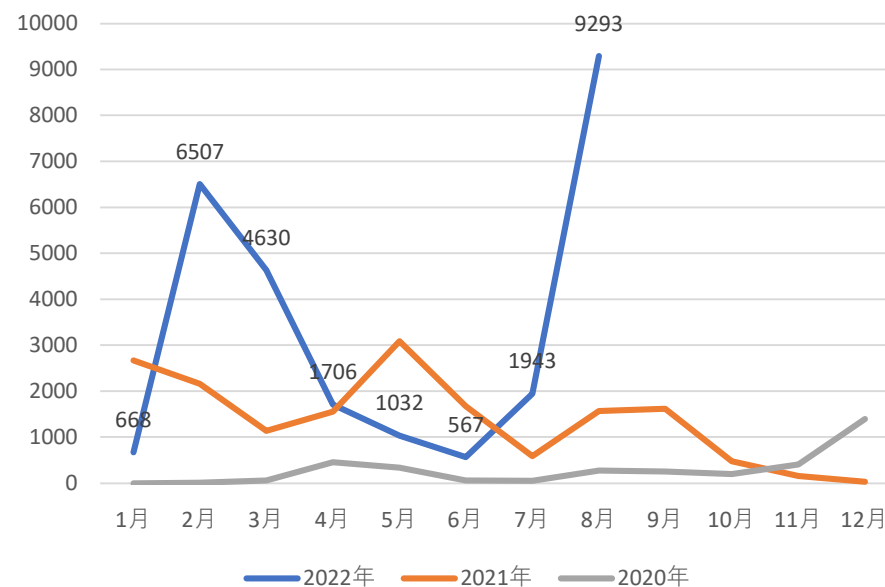
交通事故



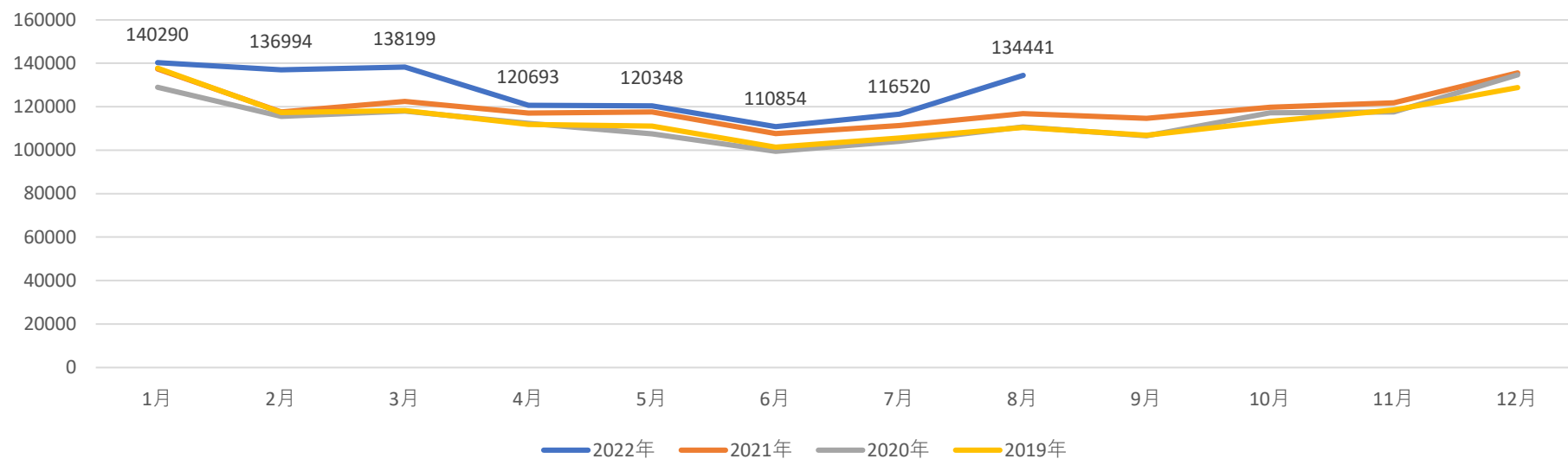
自殺



C0vid-19



総死亡数



死因によって「死亡数の変動」に違い 何が影響しているのだろうか？

1. 感染症対策による「生活の変化」が影響？
2. 通常医療が円滑に行えなかったため？
3. ワクチン接種で免疫力低下したため？
4. コロナ感染による死亡
 - コロナ感染による死亡（少ない）
 - コロナ感染で余病悪化による死亡（多い）
5. “隠れコロナ感染”で余病悪化による死亡

超過死亡、コロナ死亡、ワクチン接種

超過死亡数とは

●推計死亡数

月別の死亡数は、全国でも東京都でも、月ごとに、おおよそ一定している。冬期は多め、夏期は少なめだ。ただし、日本では少子高齢化が年々進んでいるために、毎年、少しずつ増える。それを計算に入れて、この月には、このくらいの死亡数があるだろうと推計できる。特別なことが起きないと、ほぼ推計通りの死亡数になる

●超過死亡

ところが、スペイン風邪など国民の健康に影響を及ぼす事態が起きると、死亡数が推計死亡数を大きく超えることが起きる。**推計死亡数を超えた死亡を超過死亡と呼ぶ**

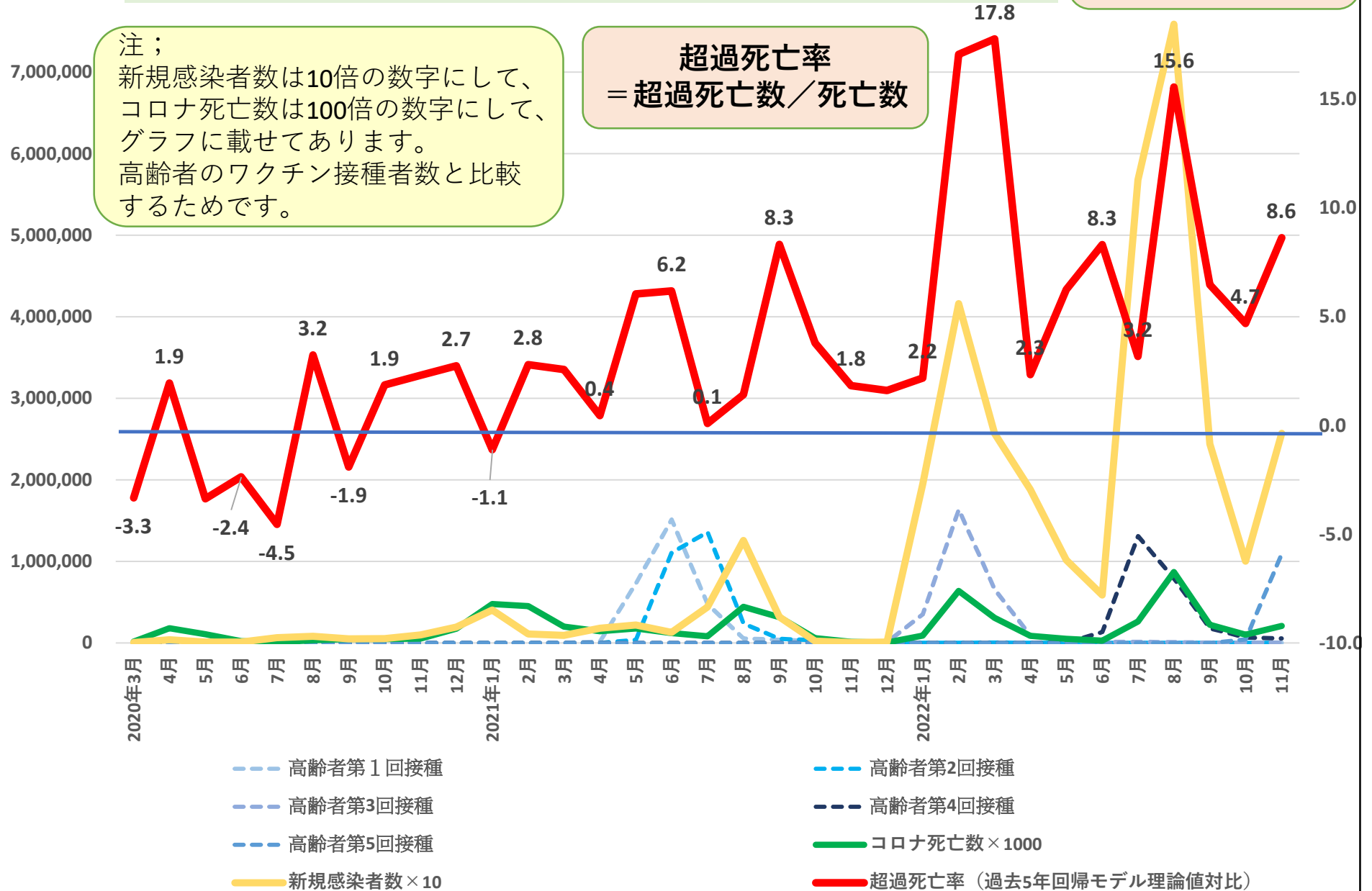
東京都 超過死亡率の推移

新規感染者数 コロナ死亡数 高齢者ワクチン接種者数①②③④⑤

超過死亡数は「過去5年回帰モデル理論値対比」で算定

注；
新規感染者数は10倍の数字にして、
コロナ死亡数は100倍の数字にして、
グラフに載せてあります。
高齢者のワクチン接種者数と比較
するためです。

超過死亡率
= 超過死亡数 / 死亡数



東京都 月別の コロナ死亡 超過死亡数 全死亡数

東京都

	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コロナ死亡数			17	181	107	21	8	32	47	48	53	174
超過死亡数 (過去5年回帰モデル理論 値対比)			257	813	206.2	245	140.2	1025.4	537.6	465.6	621.4	858.4
全死因 月別死亡数	10,351	10,085	9,333	8,728	9,215	10,371	9,475	10,230	10,409	11,567	12,311	10,757
	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コロナ死亡数	477	452	200	144	178	121	80	442	315	59	12	5
超過死亡数 (過去5年回帰モデル理論 値対比)	727.2	535.8	587.2	836.8	875.6	751.6	474.4	1102.8	1410.2	686	547.8	800.6
全死因 月別死亡数	12,311	10,757	10,833	10,342	10,123	9,372	9,621	10,734	10,554	10,601	10,549	11,781
	2022年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コロナ死亡数	89	636	306	85	51	27	182	870	221	101	209	
超過死亡数 (過去5年回帰モデル理論 値対比)	517.2	2123.8	2275.6	1075.0	1219.6	1274.6	537.4	2920.4	1726.8	1105.0	1519.6	
全死因 月別死亡数	12,480	12,511	12,708	10,851	10,694	10,080	9,894	12,867	11,242	11181	11651	

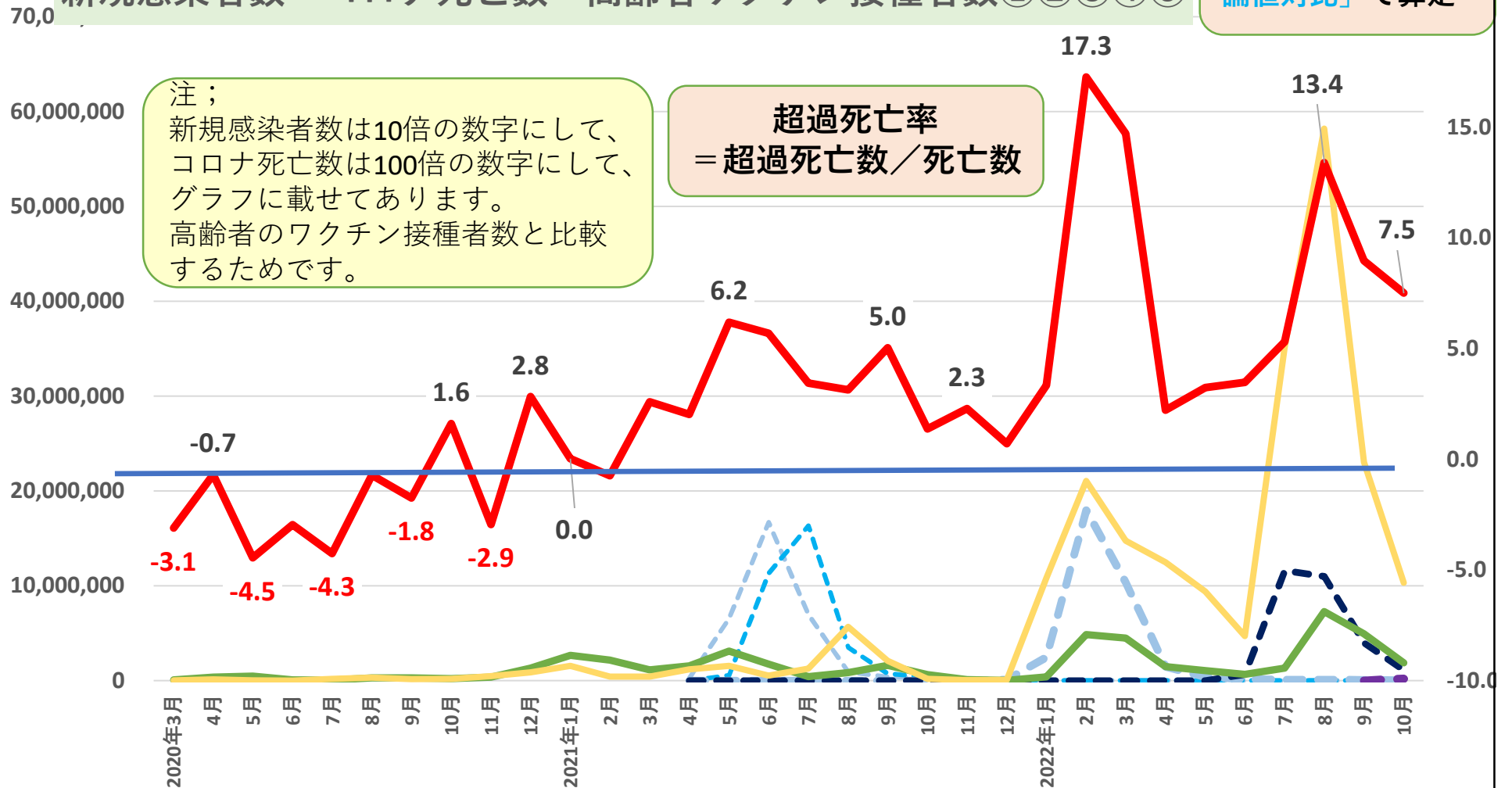
全国 超過死亡率の推移

新規感染者数 コロナ死亡数 高齢者ワクチン接種者数①②③④⑤

超過死亡数は「過去5年回帰モデル理論値対比」で算定

注；
新規感染者数は10倍の数字にして、
コロナ死亡数は100倍の数字にして、
グラフに載せてあります。
高齢者のワクチン接種者数と比較
するためです。

超過死亡率
= 超過死亡数 / 死亡数



--- 高齢者第1回接種
--- 高齢者第3回接種
--- 高齢者第5回接種
--- 新規感染者数 × 10

--- 高齢者第2回接種
--- 高齢者第4回接種
--- コロナ死亡数 × 1000
--- 超過死亡率 (過去5年回帰モデル理論値対比)

全国 月別の コロナ死亡 超過死亡数 全死亡数

全国

	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コロナ死亡数			66	353	473	81	37	285	275	195	373	1321
超過死亡数 (過去5年回帰モデル理論 値対比)			351.6	4656.6	1133.2	1874.0	1486.0	5631.6	4427.2	6320.0	3667.0	9669.6
全死因 月別死亡数			119,161	113,362	108,380	100,423	104,849	111,591	107,468	118,038	118,455	133,185
	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コロナ死亡数	2669	2159	1139	1554	3092	1732	409	849	1607	619	92	33
超過死亡数 (過去5年回帰モデル理論 値対比)	6216.2	381.6	3898.4	7942.6	10412	9210.2	7929.2	9950.2	10990.4	7206	5876	7389
全死因 月別死亡数	140,844	118,984	123,579	118,169	118,634	108,734	112,222	117,804	115,706	120,781	122,806	134,026
	2022年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コロナ死亡数	399	4841	4464	1472	1049	663	1304	7295	4923	1864	2985	
超過死亡数 (過去5年回帰モデル理論 値対比)	6280.2	19195.8	18565.2	9121.8	10486.8	9936.8	10778.2	25087.2	19449.4	16171.2		
全死因 月別死亡数	143,992	138,474	139,571	121,799	121,473	111,904	117,568	135,649	127040	131840		

「高齢者のワクチン追加接種者数」 が増えるほど

- コロナ新規感染者が増えている

- コロナ死亡が増えている

(「コロナ死」よりコロナ感染で持病が悪化しての死亡が多い。ワクチン接種が持病悪化しやすくしたのでは？)

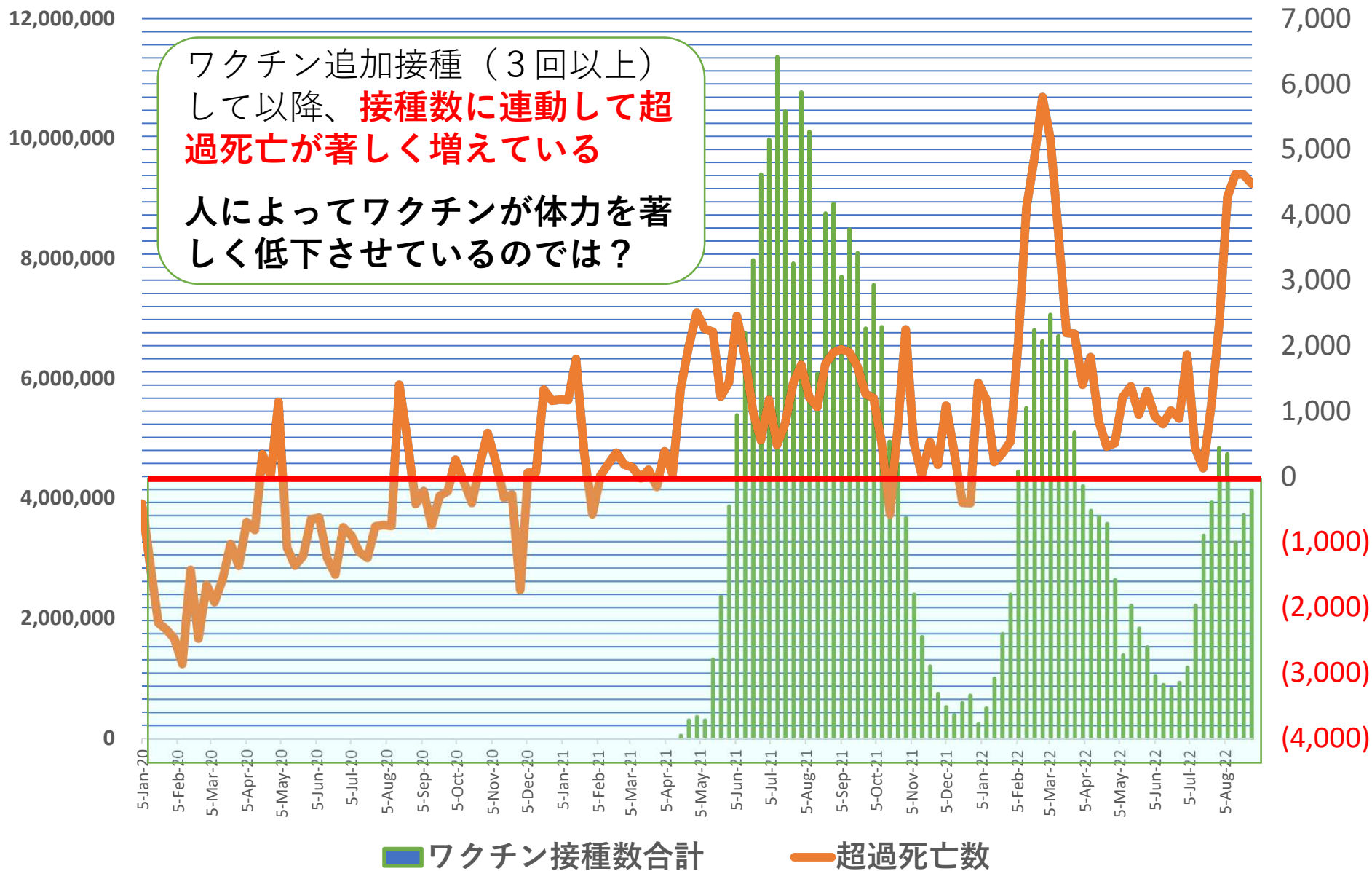
- 超過死亡が増えている

(人によってワクチン接種が著しく体力を低下させてしまうことがあるのでは？)

週毎の超過死亡数とワクチン接種者数

2020年1月～2022年8月

超過死亡は
国立感染症研究所
ダッシュボードによる



**コロナ流行下
子どもたちが重大な影響を被っていた**

「コロナ禍が子どもの脳と心に及ぼす影響」

明和政子教授（京都大学教育学科研究科）の指摘が重要

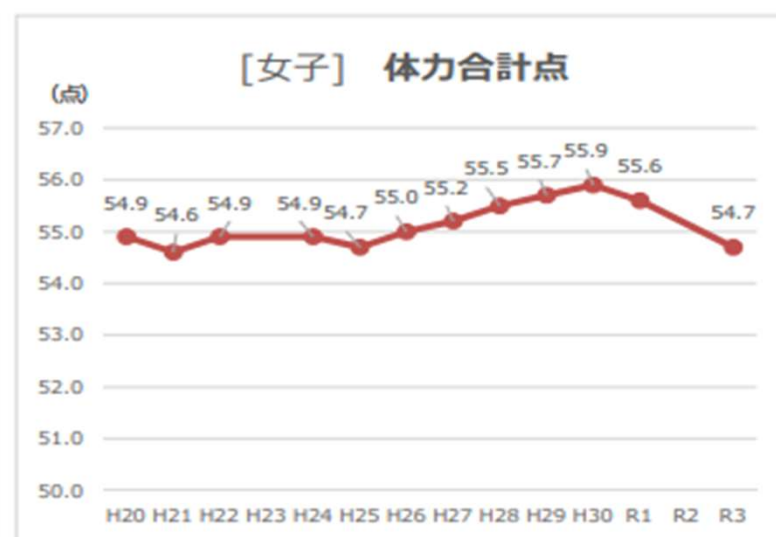
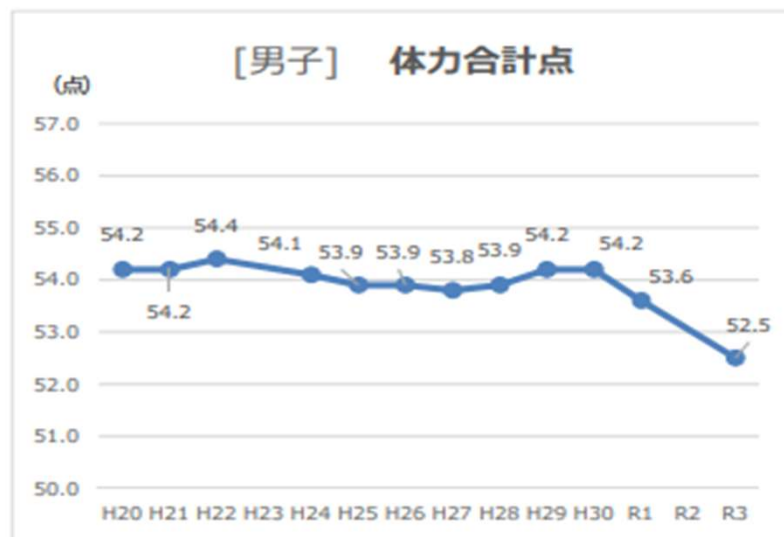
「コロナ禍が子どもの脳と心に及ぼす影響」 （時事通信2022/1/31）
<https://www.jiji.com/jc/v4?id=2110myowa0001>

「コロナ禍におけるマスク着用と子どもの育ち」
<https://www.harenohi-hoikuen.com/2021/07/2012/>
など

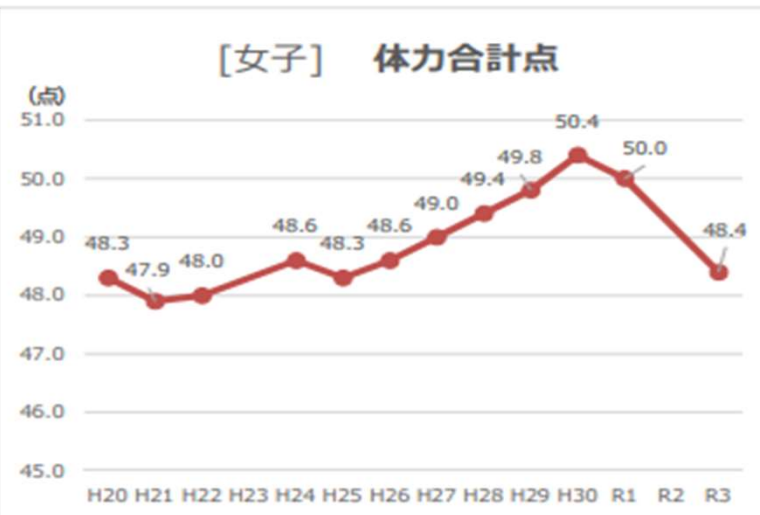
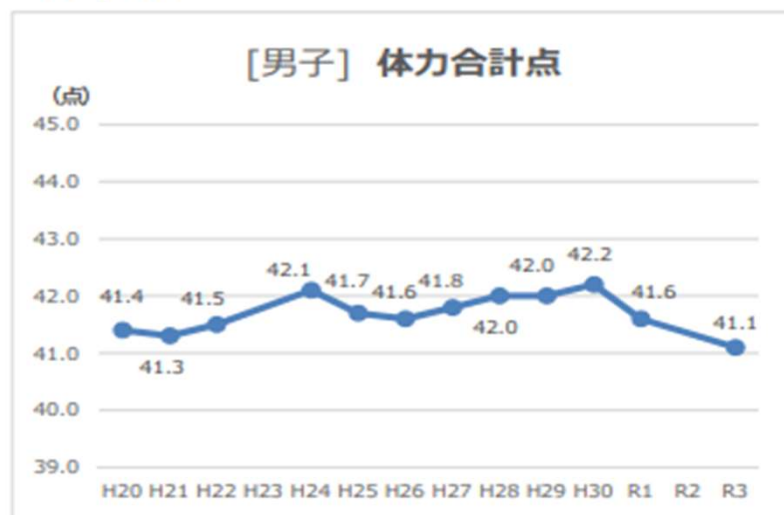
子どもの体力・運動能力が著しく低下（１）

「令和３年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（概要）について」令和3年12月スポーツ庁

（小学生）

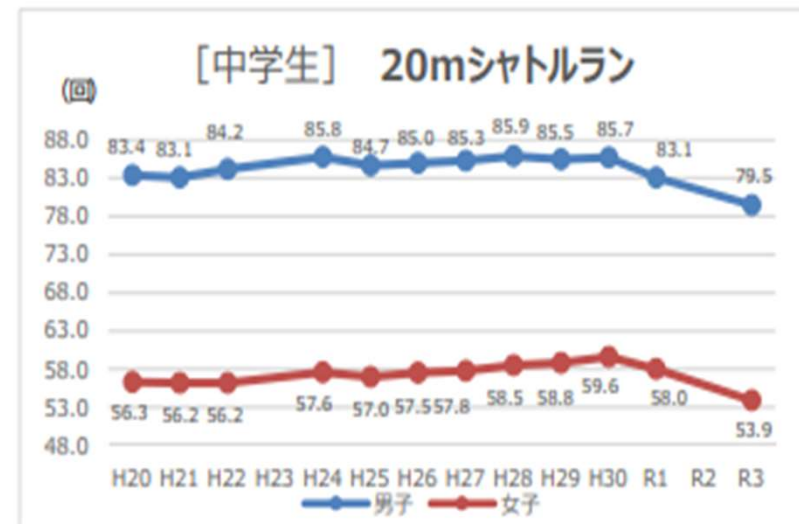
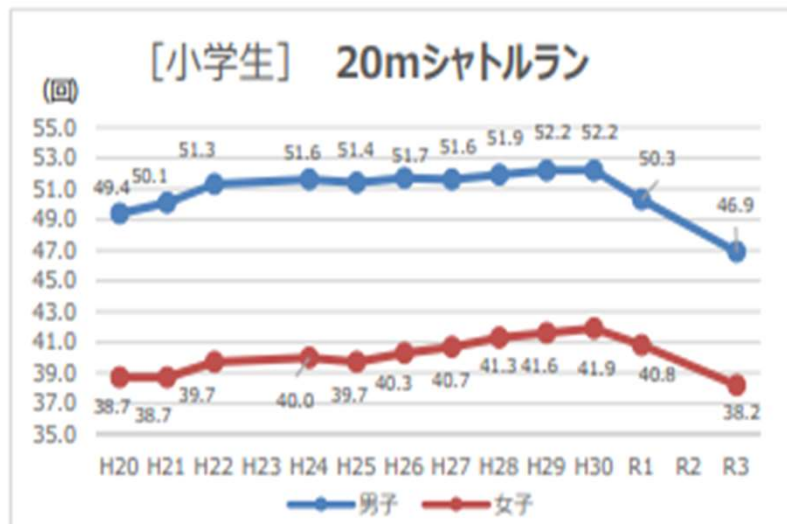
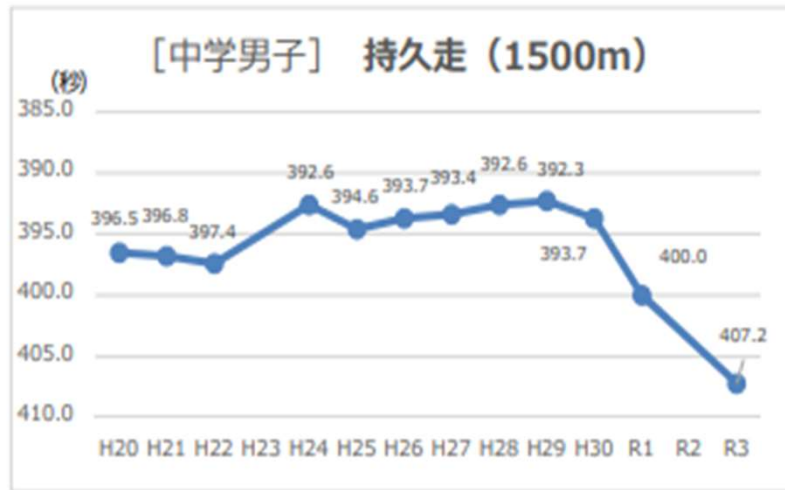


（中学生）



子どもの体力・運動能力が著しく低下（2）

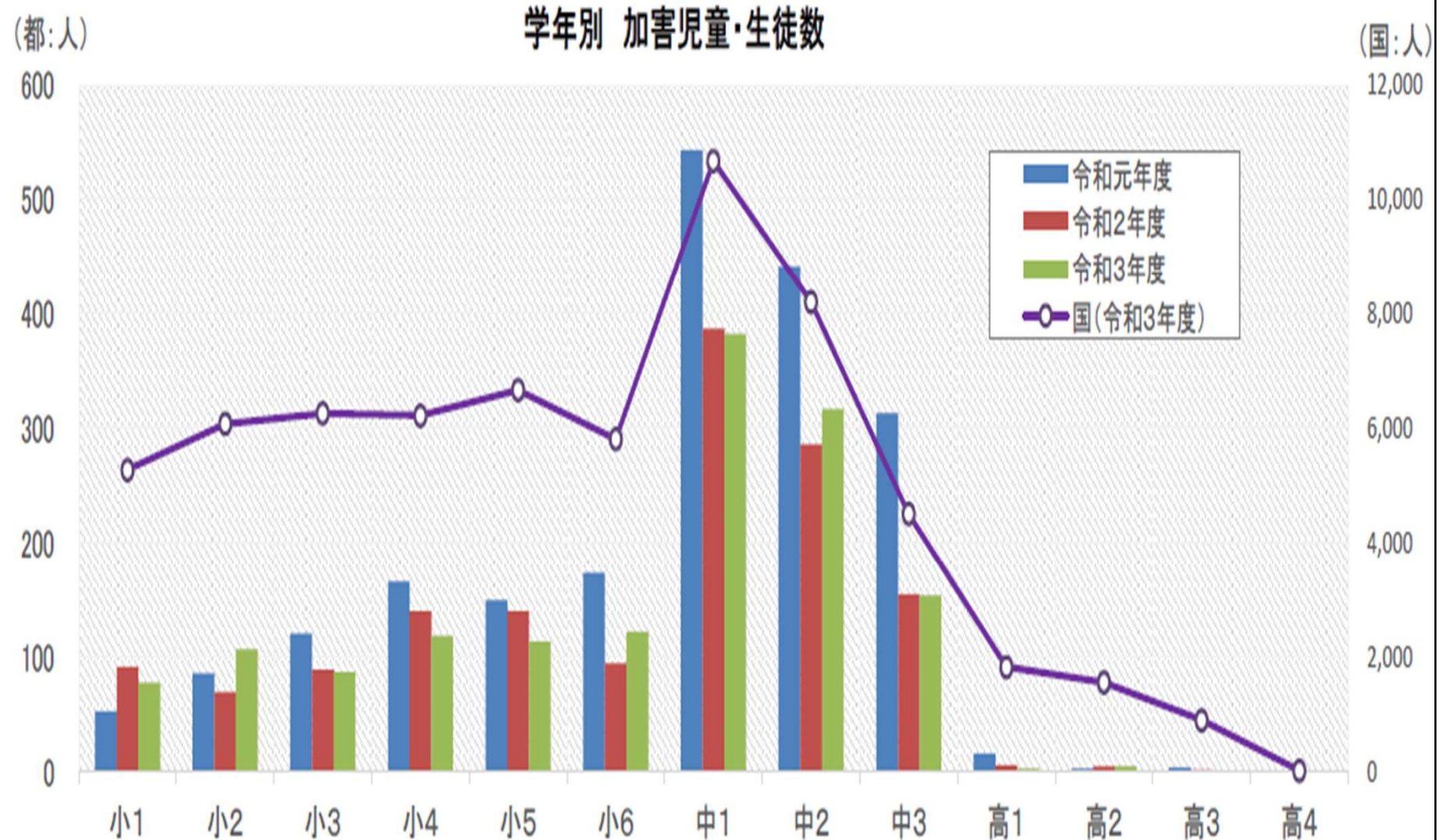
「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（概要）について」令和3年12月スポーツ庁



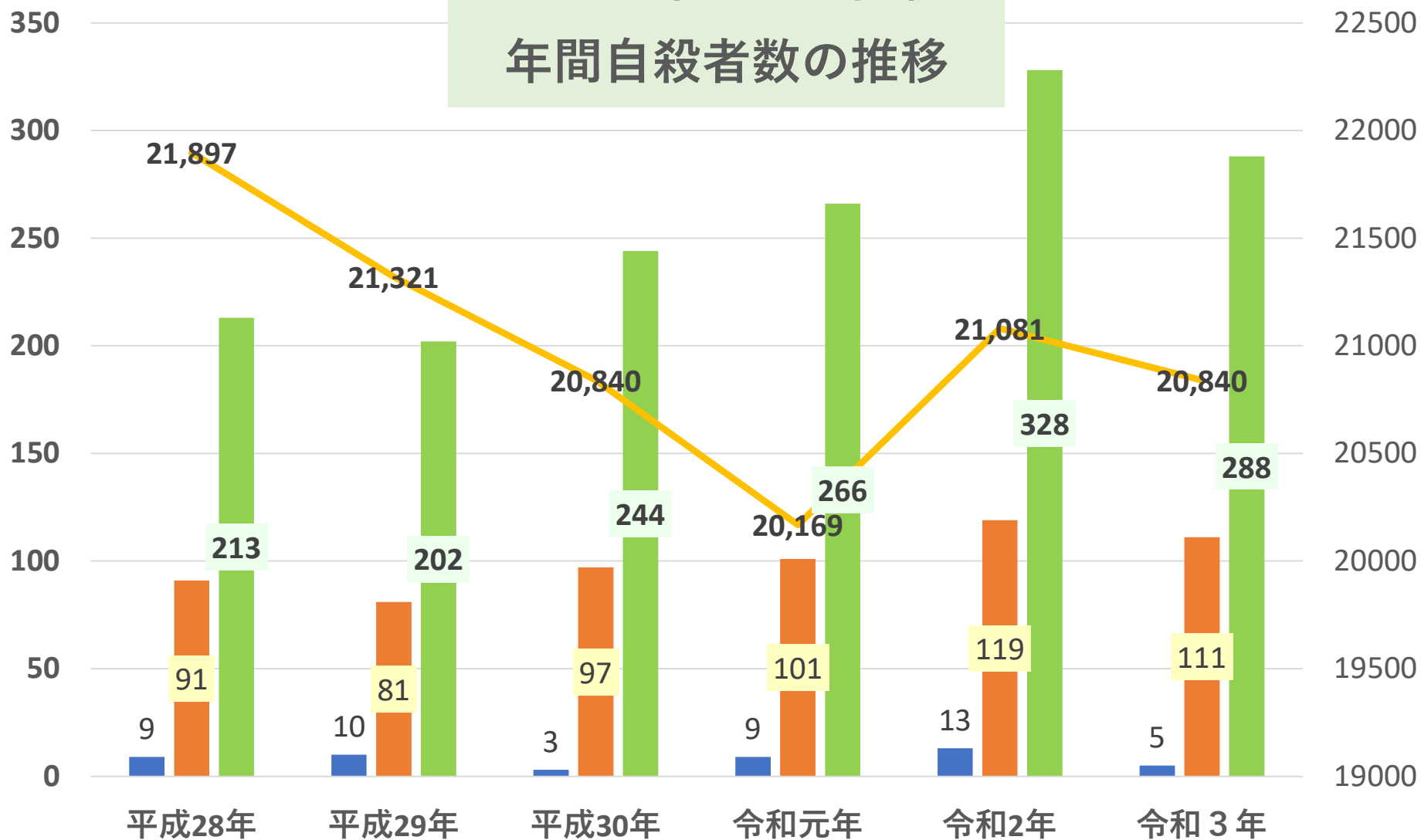
影響が残らないか、大変に懸念される

子どもの暴力行為の状況

学年別加害児童生徒数



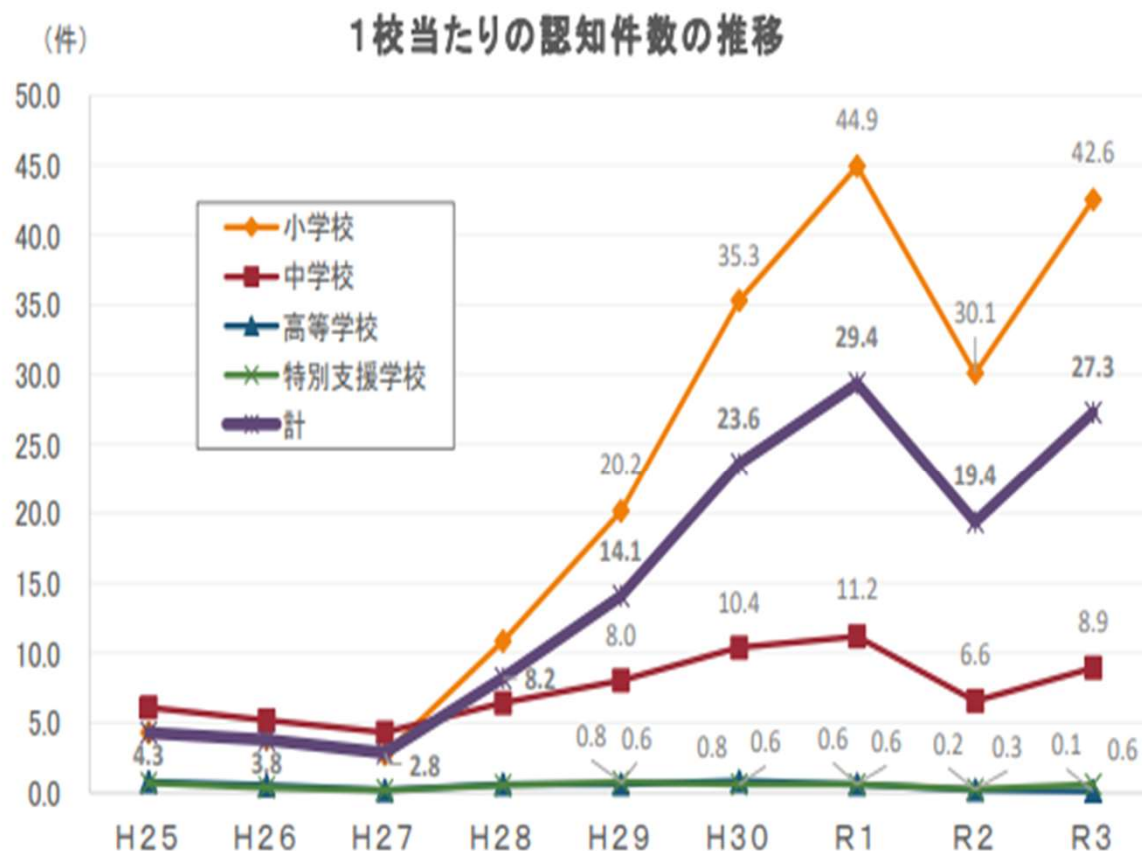
小学生 中学生 高校生 年間自殺者数の推移



■小学生 ■中学生 ■高校生 —全年齢

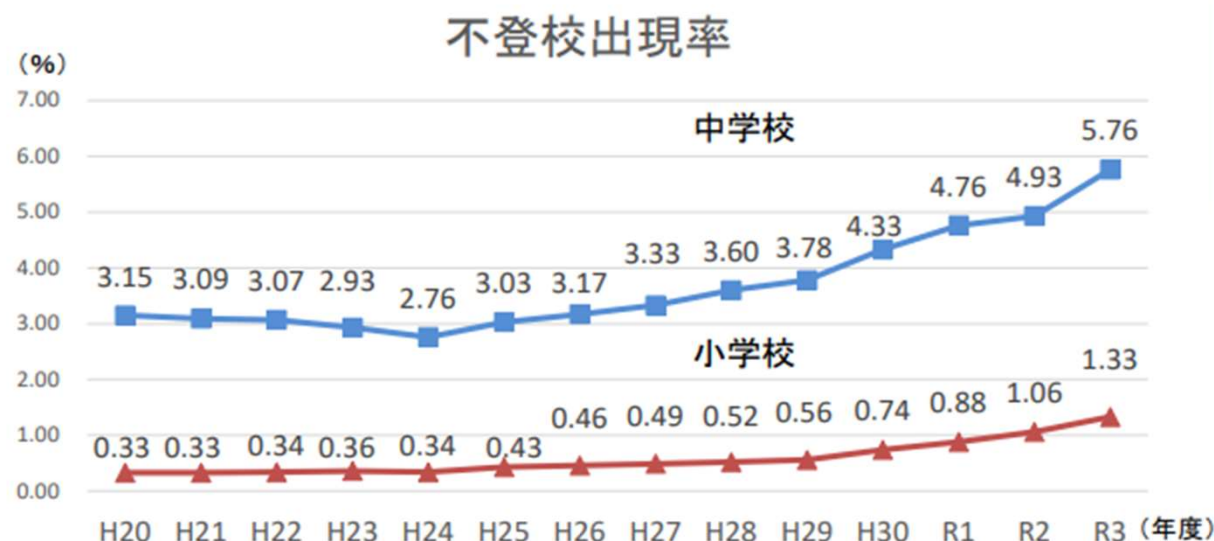
令和3年 コロナ流行下、いじめ認知率は急減

- 令和3年度における1校当たりの認知件数は、27.3件である。
- 小・中学校では、平成27年度から令和元年度まで増加傾向にあり、平成27、令和元年度を比べると、小学校は16倍、中学校は2.6倍となっていたが、令和2年度は減少した。令和3年度と令和元年度を比較すると、減少している。高等学校、特別支援学校は0.2~0.8件を推移している。



3 小・中学校における 長期欠席の状況

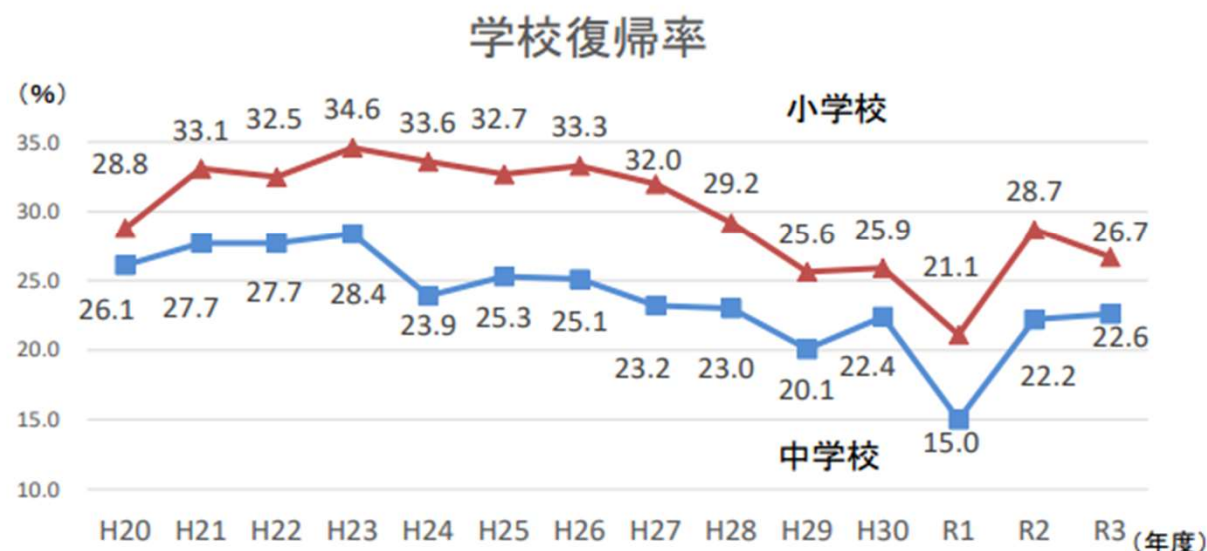
(2) 不登校出現率・学校復帰率



不登校出現率は、小学校1.33%、中学校5.76%であり、その割合は小・中学校ともに9年連続で増加している。

「不登校出現率」

在籍児童・生徒数（学校基本調査による。）に占める不登校児童・生徒数の割合



学校復帰率は、小学校26.7%、中学校22.6%であり、その割合は令和2年度と比較して、小学校では減少、中学校では増加している。

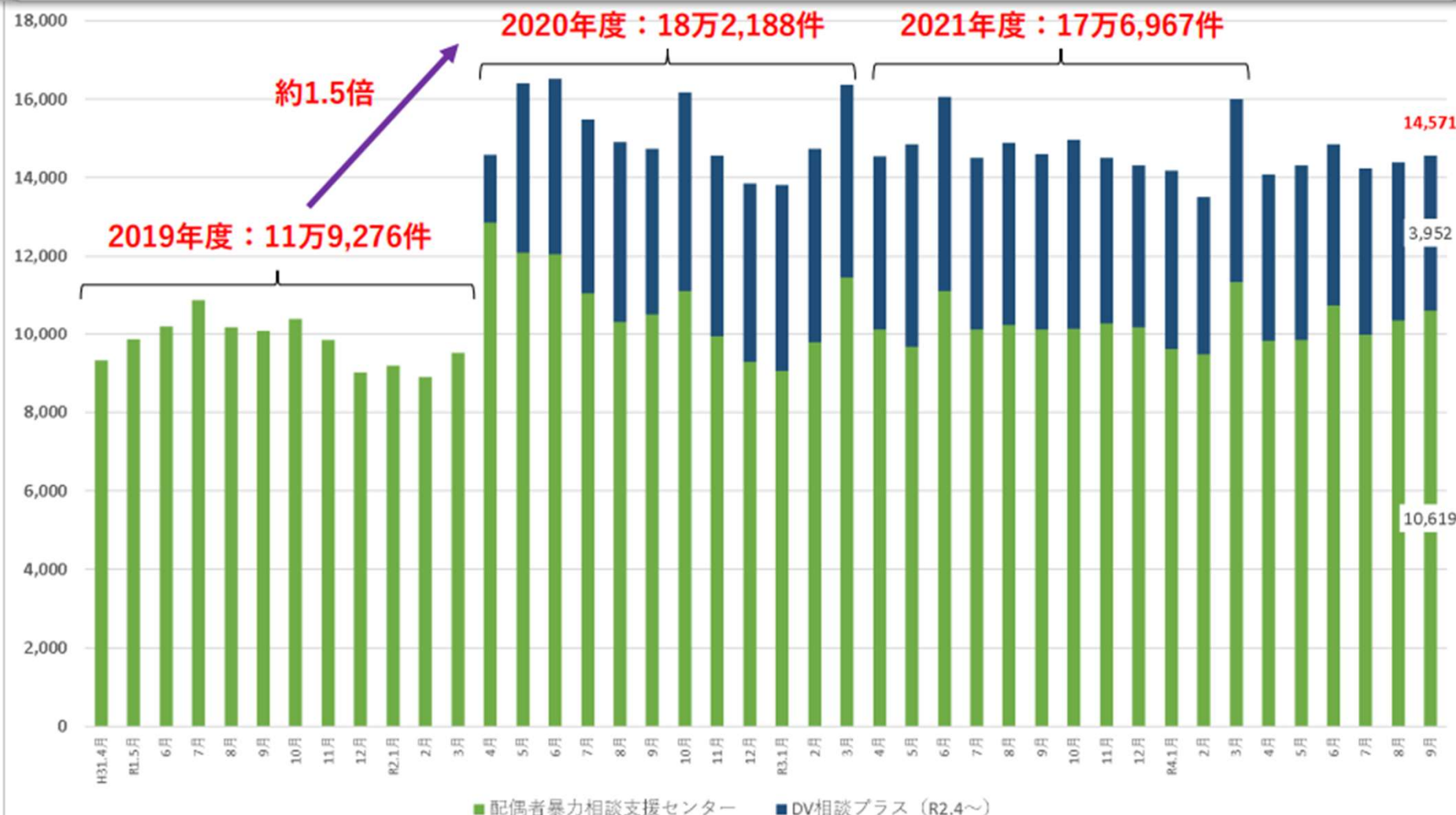
「学校復帰率」

不登校児童・生徒のうち、「指導の結果登校する又は登校できるようになった児童・生徒」の割合

家庭の中で起きていたこと

DV相談件数の推移

- ✓ DV相談件数の推移を見ると、2020年度の相談件数は、18万2,188件であり、2019年度の約1.5倍。
- ✓ 2021年度の相談件数は、17万6,967件であり、2020年度と比較すると減少しているものの、毎月1万4,000～1万6,000件程度の相談が寄せられており、引き続き高水準で推移。
- ✓ 2022年9月の相談件数は、1万4,571件（前年同月比▲0.3%）となっている。



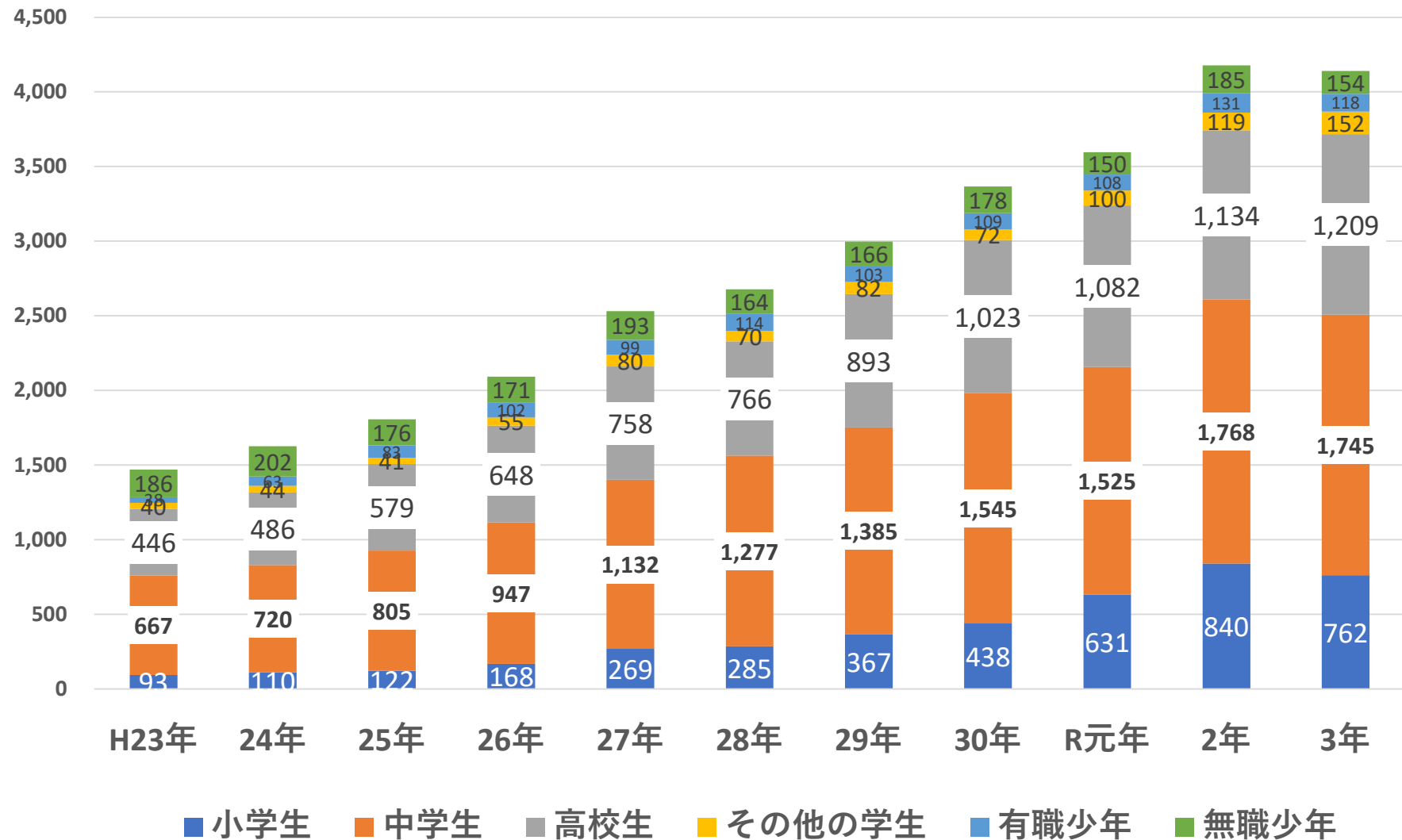
※本グラフは、全国の配偶者暴力相談支援センターに寄せられた相談件数とDV相談プラスに寄せられた相談件数を集計したものである。

※配偶者暴力相談支援センターの相談件数については、内閣府において、各都道府県から報告を受けた相談件数を、2022年12月2日時点できりまとめ、集計したものである。

子どもの家庭内暴力

家庭内暴力事案の学職別推移

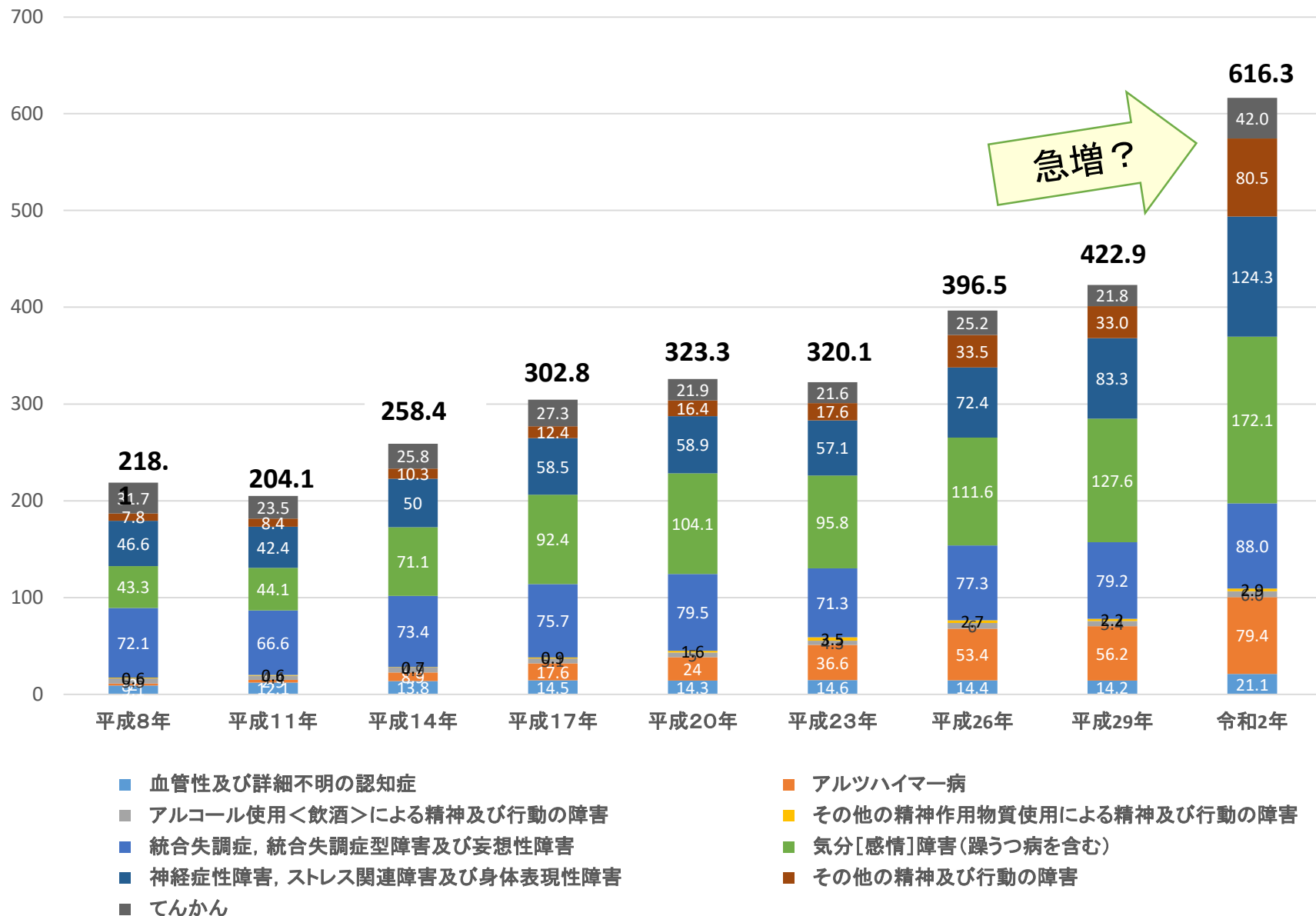
警察庁；令和2年における少年の補導及び保護の概況より



精神科医療で起きていたこと

精神障害者の数 年次推移

厚労省「患者調査」より



精神障害による推計入院数 年次推移

厚労省「患者調査」より 各年10月

